



# AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社

## 株主・投資家のみなさまへ 第115期中間報告書

(2018年4月1日から2018年9月30日まで)

ハガネがつくる 未来をつくる。



アンケート

株主様 WEB  
アンケート実施中!

ご回答いただいた株主様の中から

抽選で100名様に  
「Amazonギフト券500円分」をプレゼント!

回答期限

2018年12月28日 (金曜日) まで



amazon ギフト券

<https://q.srdb.jp/5482/>

アンケートに関するお問い合わせ先

[kabu@takara-print.co.jp](mailto:kabu@takara-print.co.jp)

※平日17時以降、ならびに土、日、祝日および年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

本株主アンケートプレゼントは愛知製鋼株式会社による提供です。本株主アンケートプレゼントについてのお問い合わせはAmazonではお受けしておりません。愛知製鋼株式会社までお願いいたします。お問い合わせ：hp-aichi-info@he.aichi-steel.co.jp Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。



# 思考の「振り子」を 大きく振って New AICHI STEELへ

代表取締役社長

藤岡高広

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループを取り巻く環境は大きな変動を間断なく続けており、特に我々の主要顧客である自動車メーカにおいては、電気自動車へのシフトと自動運転車の開発競争といった100年に一度の大変革期を迎えています。

このような環境下においても当社グループは、持続的な成長を続けるためにも、中期経営計画を着実に遂行し、事業基盤と収益体制の更なる強化に取り組んでまいります。

そのためには、思考の振り子を大きく振ることで、既存の考えやビジネスの枠組みを脱却し、高付加価値商品の開発・販売によって、新たなビジネスの積極的な創出を進めています。

さらに、グループ全体の共通の価値観・行動規範を定めた**「Aichi Way」**によって、社員のチームワークをさらに強化し、また、働き方改革による業務の効率化により、社員のやる気向上と能力を最大限に発揮させてまいります。

そして、素材でスマート社会に貢献するだけでなく、「**もっといい会社**」としてステークホルダーのみなさまから信頼される**「New AICHI STEEL」**を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

## Aichi Way

Densho  
伝承  
Sustain

Kansha  
感謝  
Appreciate

Souzou  
創造  
Create

### ■ Aichi Wayについて

当社グループが、継続的な成長を続け企業価値を高めていくために、どのような価値観を共有し、どのような行動をとるべきかを示した規範です。創業から受け継がれてきた精神と価値観を「伝承」し、全てのステークホルダーへの「感謝」を忘れず、より良い社会を「創造」していくことを目指しています。

## 当中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済政策により緩やかな回復基調で推移しました。しかし世界的な貿易摩擦の懸念などにより、わが国経済を取り巻く環境は、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当中間期の売上高は、前年同期(1,138億2千2百万円)に比べ8.7%増の1,237億2千1百万円となりました。

当中間期の利益につきましては、販売数量の増加や販売価格の値上がり、海外子会社の利益増等の増益要因があったものの、原材料・副資材・エネルギー価格の上昇や、減価償却費の増加などにより、営業利益は前年同期(70億4千5百万円)に比べ14億5千5百万円減の55億9千万円、経常利益は前年同期(72億6千8百万円)に比べ14億9百万円減の58億5千9百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期(51億7千2百万円)に比べ14億6千7百万円減の37億5百万円となりました。

鋼(ハガネ)カンパニーについては、鋼材の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当中間期の売上高は605億4千9百万円(前年同期528億1千7百万円)と前年同期に比べ14.6%増加しました。

鍛(キタエル)カンパニーについては、鍛造品の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当中間期の売上高は543億6千8百万円(前年同期523億5千3百万円)と前年同期に比べ3.8%増加しました。

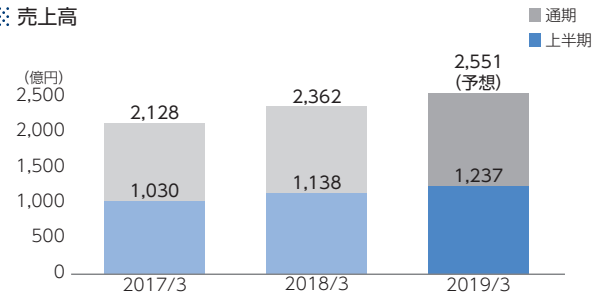
スマートカンパニーについては、電子部品の売上の増加などにより、当中間期の売上高は72億6千6百万円(前年同期71億5千2百万円)と前年同期に比べ1.6%増加しました。

その他事業については、当中間期の売上高は15億3千6百万円(前年同期14億9千8百万円)と前年同期に比べ2.5%増加しました。

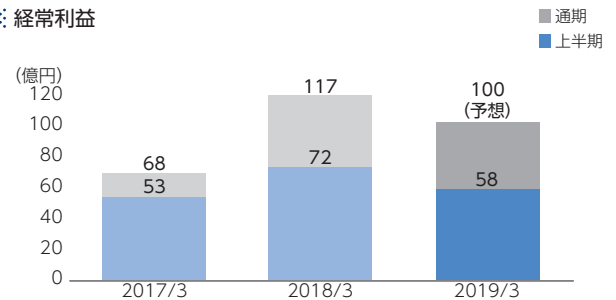
なお、中間配当金は1株当たり60円とさせていただきます。通期では、期末配当金の60円を合わせて120円を予想しております。

## 業績ハイライト

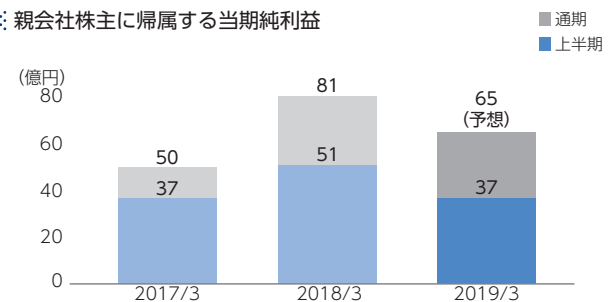
### 売上高



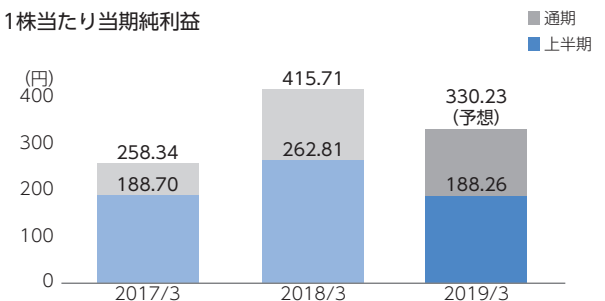
### 経常利益



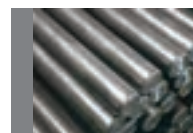
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり当期純利益



## 各カンパニー別の売上



鋼(ハガネ)カンパニー  
売上高 **605** 億円



鍛(キタエル)カンパニー  
売上高 **543** 億円

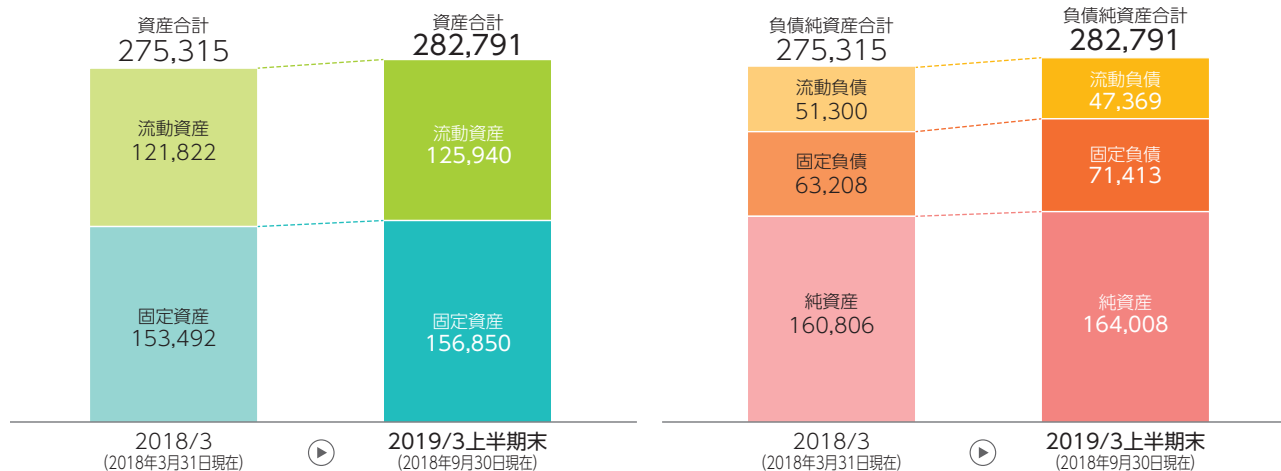


スマートカンパニー  
売上高 **72** 億円

# 連結決算

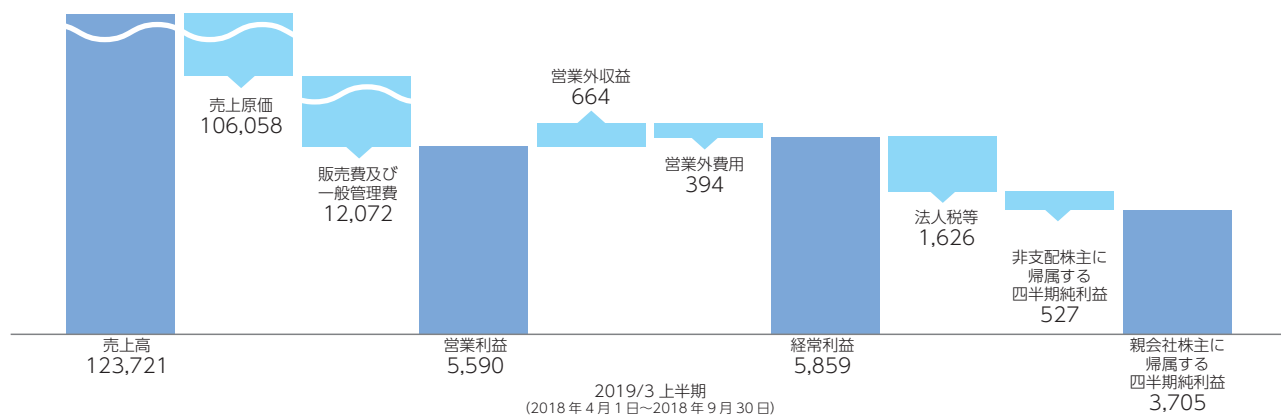
## 財務の状況

(単位:百万円、未満切り捨て)



## 収益の状況

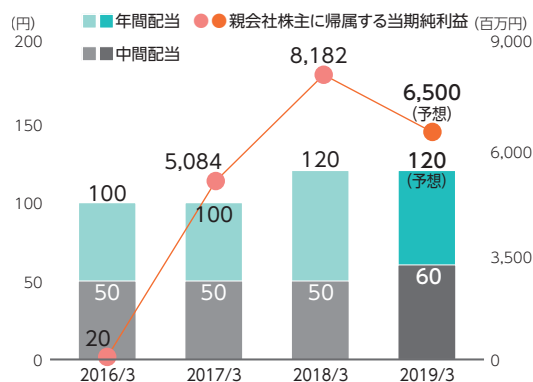
(単位:百万円、未満切り捨て)



## 当期 (2019年3月期) の業績見通し

売上高	255,100 百万円 (前期比8.0%増)
経常利益	10,000 百万円 (前期比15.1%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	6,500 百万円 (前期比20.6%減)
1株当たり配当金(中間)	60 円/株
1株当たり配当金(期末)	60 円/株 (予想)

## 1株当たり配当金の推移



※当社は、2016年10月1日をもって普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり配当金額は、2016年度期首に株式併合を行ったものとし、修正表示しております。



## 新たな技術で次世代社会に貢献

### 燃料電池車(MIRAI)に使用される高圧水素用ステンレス鋼が「国際ステンレススチールフォーラム(ISSF)」で受賞

当社が2014年に開発した高圧水素用ステンレス鋼「AUS316L-H2」が、「国際ステンレススチールフォーラム(ISSF)」において、新技術開発賞の銅賞を受賞しました。独自の成分設計により、高圧水素環境で優れた延性と高強度を実現し、水素社会の進展に貢献しています。

### MIセンサを用いた「磁気マーカシステム」の事業化に向けて

超高感度磁気センサ「MIセンサ」を応用した「磁気マーカシステム」は、多くの自動運転技術で必要とされる視界や電波環境に影響されず、安定して自車位置を特定できる技術であり、自動運転の信頼性を高めます。当社は「先進モビリティ株式会社」と共同で、国交省や経産省などの主導のもと、日本各地で行われている自動運転実証実験に参画し、成果を重ねてきました。

今後もさらに実証実験を実施していくとともに、事業化に向けたビジネスモデルの構築に取り組んでいきます。



ISSFでの表彰の様子



車両に搭載されているMIセンサモジュール

## 当社本館が「日経ニューオフィス賞」を受賞

### 新しい時代のニーズを先取りするニューオフィスとして評価

株式会社日本経済新聞社および一般社団法人ニューオフィス推進協会などが主催する「第31回日経ニューオフィス賞」において、当社本館が「ニューオフィス推進賞」と、中部地方ブロックの応募企業で最も優れた事例としての「中部経済産業局長賞」をあわせて受賞しました。

### 働き方改革、事業継続体制強化、省エネルギーを実現

受賞した本館は、スタッフの知的生産性や創造性向上を促す環境に加え、BCM(事業継続マネジメント)機能の強化やエネルギー消費量の大幅な削減など、安心・快適でオープンなオフィス環境を高いレベルで実現しています。今後も、この環境を活かした働き方改革を積極的に進め、存在価値ある企業への年輪的成長を果たしてまいります。



コミュニケーション階段



オープンスペースでの打合せの様子

## ジャカルタ2018アジア競技大会で山西利和選手が銀メダル獲得

### 1秒を争う激しいトップ争いを繰り広げ、2位に入賞

当社陸上競技部所属の山西利和選手と丸尾知司選手が、インドネシア・ジャカルタにて開催された「ジャカルタ2018アジア競技大会」に日本代表として出場しました。山西選手(20km競歩)は1位とわずか6秒差の1時間22分10秒でゴール、2位に入賞し銀メダルを獲得し、丸尾選手(50km競歩)も粘り強い歩きを見せ、4位に入賞しました。

### 2020年の東京オリンピックを目指して

山西選手と丸尾選手はオリンピック強化指定選手に認定されており、高い期待が寄せられています。当社陸上競技部は、世界の舞台で活躍できる長距離・競歩選手の育成に努めるとともに、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしてまいります。



懸命な歩きを見せる山西選手



山西選手(左)と丸尾選手(右)

# 会社の概況 (2018年9月30日現在)

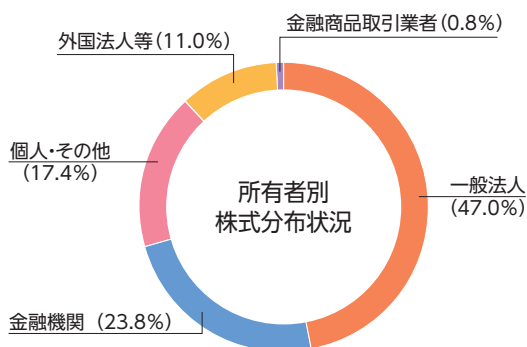
## 会社の概要

社名 愛知製鋼株式会社  
 設立 1940年3月8日  
 資本金 250億1千6百万円  
 営業品目 鋼材、鍛造品、電磁品、その他  
 本社 〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地  
 TEL 052-604-1111(代表)  
 営業拠点 東京、大阪、福岡  
 工場 知多工場/東海市(特殊鋼条鋼)  
 刈谷工場/刈谷市(ステンレス形鋼)  
 鍛造工場/東海市(鍛造品)  
 東浦工場/東浦町(電磁品)  
 岐阜工場/各務原市(電磁品)  
 関工場/関市(電磁品)  
 電子部品工場/東海市(電子部品)  
 従業員数 (連結) 4,952名 (単独) 2,684名

## 株式の状況

発行可能株式総数 47,600,000 株  
 発行済株式の総数 19,886,675 株  
 株主数 9,603 名

## 所有者別株式分布状況



## 役員

代表取締役会長	岩瀬 隆 広	常勤監査役	金床 一 郎
代表取締役社長	藤岡 高 広	常勤監査役	後藤 卓
代表取締役副社長	浅野 弘 明	社外監査役	豊田 鐵 郎
取締役 専務執行役員	中村 元 志	社外監査役	小平 信 因
社外取締役	安井 香 一		
社外取締役	新居 勇 子		
常務執行役員	安永 直 弘	上級執行役員	伊藤 利 男
常務執行役員	小島 勝 憲	上級執行役員	野村 一 衛
常務執行役員	石神 隆 志	上級執行役員	藤根 学
常務執行役員	知野 広 明	上級執行役員	志藤 康 弘
常務執行役員	山中 敏 幸	上級執行役員	坂本 定
常務執行役員	前田 和 孝	執行役員	鹿野 厚
上級執行役員	村上一 郎	執行役員	相地 政 登
上級執行役員	古川 正 樹	執行役員	近藤 徹 夫

## 大株主 (上位 10 名)

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
トヨタ自動車株式会社	4,715	23.96
新日鐵住金株式会社	1,531	7.78
株式会社豊田自動織機	1,360	6.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	618	3.14
第一生命保険株式会社	525	2.67
株式会社三井住友銀行	491	2.50
株式会社三菱UFJ銀行	474	2.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	472	2.40
東和不動産株式会社	461	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	326	1.66

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 公告方法 電子公告  
 上場取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたしません。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

— 当社ウェブサイトのご案内 —  
<https://www.aichi-steel.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。

